

ツアーの写真 伊吹山

8:30 三木 ~ 関が原 (昼食)
~ 伊吹山ウォーキング ~ 醒井・地藏川
~ 三木 20:30 (八ッ橋と八ヶ岳)

2010年7月25日



山頂付近





シモツケソウ



メタカラコウ



ギボウシ



メタカラコウ



イブキトラノオ



クガイソウ

琵琶湖国定公園 伊吹山山頂お花畑案内図 (天然記念物 伊吹山山頂草原植物群落)

山頂一帯のお花畑は、春から秋にかけて200種あまりの草花が美しく咲き乱れます。このお花畑は、伊吹山山頂の植物が守られるほか、その種の多様性の高さから極めて学術的な価値が高いとして、国の天然記念物「伊吹山山頂草原植物群落」に指定されています。

山頂お花畑では、過去に貴重な絶滅の危機に瀕していたと考えられる、高山性植物や高山性植物を、数多く見ることができます。

伊吹山山頂に生育する草花の種類と多いことも特徴です。

伊吹山山頂で見られることのできない植物 (高山植物)

- コケシロネ、アサギ、イブキトラノオ、イブキ、イブキソウ、イブキカズラ、イブキカズラ、イブキカズラ
- コケシロネ、アサギ、イブキトラノオ、イブキ、イブキソウ、イブキカズラ、イブキカズラ

また、伊吹山には江戸時代より高山にロープウェイから運搬された植物があります。これらの植物は、絶滅の危機に瀕しているとして、国の天然記念物に指定されています。

江戸時代より高山にロープウェイから運搬された植物

- マクランソウ、イブキカズラ、イブキカズラ

伊吹山山頂、高山、伊吹山山頂、高山、伊吹山山頂、高山


伊吹山自然再生協議会・福原市・米原市



シシウド






 **伊吹山頂登頂証明書**

登頂者氏名 **矢田隆是 と 喜巳子**

あなたは、健脚を活かし、ここ伊吹山頂に無事登頂されました。そのチャレンジ精神は今後の貴方の人生にとって、かけがえのないものになることと思います。健闘を讃えここに登頂証明書を授与します。

平成 **22** 年 **7** 月 **25** 日

やまとたけるのみこと
日本武尊



山頂から見た駐車場





ハイカ(梅花藻)



地蔵川



八日魚





関が原 古戦場

徳川家康を総大将とする東軍 vs 石田三成を中心とする西軍

慶長3年(1598年)、豊臣秀吉は死に際して、子の豊臣秀頼を後継とし、その補佐後見を前田利家・徳川家康等いわゆる五大老や、浅野長政・石田三成等いわゆる五奉行などの有力大名・武將に託した。秀吉亡き後の豊臣政権ではやがて、徳川家康を中心とする一派と、それを快く思わない一派との間で、主導権争いが激しくなった。慶長5年(1600年)に行われた関ヶ原の戦いは、両派の勝敗を画した戦闘である。

関ヶ原の戦いで争った二派は、徳川家康を総大将とする東軍と、毛利輝元を総大将とし石田三成を中心とする西軍である[2][3]。東軍西軍とも、その多くは豊臣恩顧の武將であり、戦いの性格を家康は豊臣家の家臣同士の成敗合戦(豊臣家に仇為す者を成敗する)という建前をとったことから、豊臣家は表向き静観の立場を取った。この建前の採用により豊臣恩顧の大名を東軍方に引き入れる道義的な正当性を成立させ、かつ豊臣家臣の大名を弱体化させることに成功し、五大老制度を有名無実化させること

